「心のふるさと」となる　あなた　を大切にする学校

日　仏　文　化　学　院

パリ日本人学校

教　育　目　標

明るく
仲よく
たくましく

令和元年度学校だより
第11月号　１月８日発行

あけましておめでとうございます

パリ日本人学校

校長　小野江　隆

あけましておめでとうございます。令和２年の新しい年が明けました。皆様におかれましては、御家族でよい年を迎えられたことと思います。今年も、パリ日本人学校の子供たちのために、御支援・御協力を宜しくお願いいたします。

３学期始業式、子供たちの明るい挨拶が響き合い，よいスタートを切ることができました。事故もなく，元気で始業式を迎えられたことをうれしく思います。

校庭にある桜の木の下を通りますと、すっかり葉を落とした桜の木に目が留まりました。桜に木には、はっきりと新しい息吹である固い芽を確認することができました。すでに春の準備がなされていて、自然の中で自分を精一杯に咲かせようとしている生命力の尊さにはあらためて驚かされます。

子供たち一人一人は，その子なりにだれにも負けない美しい花を持っています。その美しい花を咲かせるためには寒い冬も必要だと思います。そして、異国の地での経験もそれをプラスに活かす場こそ、子供たちにとって厳しい寒さに耐え、開花の力をしっかりと蓄える時となるのだと思います。

困難にも負けず、人生の花を見事に咲かせることができるよう、これからの成長をしっかりと見守り続けたいものです。

始業式では、子供たちに、「未来と自分は変えられる」「素晴らしいあいさつのできるパリ日の子供たちの伝統を引き継ぐのは君たち」の２つの話をしました。

最後に、吉田貞雄さんの「夢八訓」を紹介しました。

〈夢八訓〉

夢のある人には、希望がある　　希望のある人には、目標がある

目標のある人には、計画がある　　計画のある人には、行動がある

行動のある人には、結果がある　　結果のある人には、反省がある

反省のある人には、進歩がある　　進歩のある人には、 夢 がある

書き初め会

パリ日では、恒例の書き初め会を３学期登校日初日に行いました。私の講話の中で、書き初めの意義やその歴史について触れ、「清らかな気持ちで、字や自分と向き合って書きましょう」と伝えました。

１・２年生は、各教室。３年生以上は、体育館で行いました。講話の後、書き初め会の様子を見に行くと、各教室や体育館では、水をうったように静かで、集中して書に向き合っていました。字の上達を願うだけでなく、自分の思いや決意が叶うように心を込めて書くことができました。

※１月の行事予定は安全管理のため削除しました。